

# Q&A 先月の技術相談から

## 今年のきのこは豊作ですか？

Q1：今年のきのこはどうなる（豊作？凶作？）でしょうか？

Q2：今年のきのこはどう（豊作？凶作？）ですか？

Q3：今年のきのこはどう（豊作？凶作？）でしたか？

### 【回答例】

A1：分かりません。

A2：あまり出ていないみたいですね。

A3：結構たくさん出ていたみたいですね。

Q3は野生きのこの発生シーズンが終わった晩秋以降の質問で、Q2が最も多く、きのこ狩りシーズン中に聞かれます。Q1は夏頃の質問で、「野生きのこの豊凶予想」を知りたいのでしょう。質問の冒頭には「今年みたいに夏が暑いと（寒いと）・・・」とか「雨が多いと（少ないと）・・・」などがつくこともあります。

現在、スーパーマーケットなどの小売店で販売されている食用きのこは、ほとんどが施設で栽培されているため気候による影響の心配がなく、年中手に入ります。そのため質問の意図は、野山に生えている野生きのこを指していることとなります。

食用きのこの中でもマツタケは施設栽培が出来ないため、すべて野外で採取される「野生きのこ」と言えます。統計資料<sup>1)</sup>から過去10年間の国産マツタケの生産量を見てみると(図1)、主要な産地である長野県や岩手県では、2010年(平成22年)にマツタケが大豊作だったことが分かります。一方、長野県では2005年や2009年、2012年が不作(凶作)だったようです。

イネなどの主要な農作物では、マツタケよりも詳細な「作物統計調査」<sup>2)</sup>が行われています。しかし、マツタケ以外の野生きのこに関してはほとんど調査が行われておらず、マツタケの豊凶と他のきのこの豊凶が一致するとも限りません。そのため、Q2やQ3に対しては、野生きのこを採取している人々の話から推測して「あまり出なかったみたいですね」、「結構たくさん出ているみたいですね」のように回答しています。

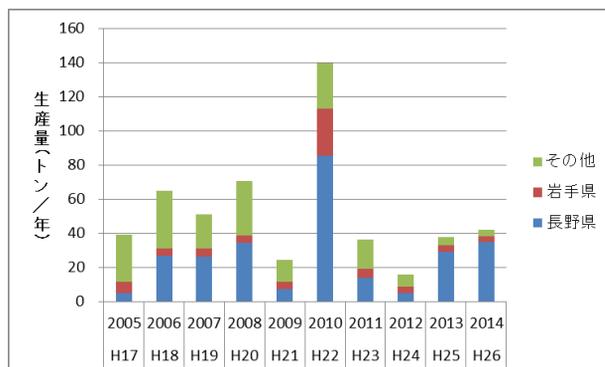


図1 国産マツタケ生産量の推移

「農林水産省：特用林産物生産統計調査」<sup>1)</sup>より作成

ところで、前述の作物統計調査では、水稻の「作物概況」や「予想収穫量」が公表されています。また、樹木ではブナやコナラの種子(ドングリ)の豊凶モニタリングが全国で行われており<sup>3)</sup>、スギ花粉やシラカバ花粉も飛散量の予測<sup>4)</sup>が行われています。

マツタケなど野生きのこの発生時期や発生量は、気温や降雨量など気候の影響を受けていることは経験的に分かっています。そのため、気象データを用いてマツタケの豊凶について予測が試みられ、北海道では気温-降水量指数での簡易予測が提案されています<sup>5)</sup>が、まだ実用化には至っていません。ほかの野生きのこについては予測式を導くデータ自体が不足しています。そのためQ1に対しては、残念ながら「分かりません」とお答えするしかありません。

### ■参考資料

- 1) 農林水産省HP：特用林産物生産統計調査、[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokuyo\\_rinsan/](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokuyo_rinsan/)
- 2) 農林水産省HP：作物統計、<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/index.html>
- 3) 八坂通泰：北海道立総合研究機構HP、[https://www.hro.or.jp/info\\_headquarters/domin/magazine/23.html](https://www.hro.or.jp/info_headquarters/domin/magazine/23.html)
- 4) 北海道立衛生研究所：北海道の花粉情報、[http://www.iph.pref.hokkaido.jp/pollen/p\\_files/yosoku.htm](http://www.iph.pref.hokkaido.jp/pollen/p_files/yosoku.htm)
- 5) 村田義一、高橋儀昭：北方林業No. 55Vol. 3, 4-7 (2001)。

(利用部 微生物グループ 宜寿次盛生)